

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

1 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	国語
グループ名、人数	2グループ 12名		担当教員	◎作山、松本、唐澤、木全、日下、三谷、島井、川井	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高める。 (3) 言葉がもつよさを認識し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
年間授業時数	単位時間 70	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	挨拶 個別課題	通 年	○挨拶、点呼 ▲名前を呼ばれて反応することができる。 ▲個々のねらいに応じた課題を行う。 ○点から点へ線を引く ▲始点と終点を結ぶことができる。	・生徒と視線を合わせて呼名する。 ・集中しやすい教室環境にする。	
	読み聞かせ		○絵本 ○紙芝居 ▲話を楽しみながら聞くことができる。	・繰り返しのある言葉などリズム感のある題材を選ぶ。	
4 5 6 7	物の名称	12	○具体物の認識 ▲身の回りのものに気付き、対応させることができる。	・写真カードを使用し、日常生活を結び付ける。	
9	場所の名称	12	○関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ▲絵カードを組み合わせる。	・適切な反復による学習を進めるようにする。	
	運筆練習	12	○点から点へ線を引く ▲始点と終点を結ぶことができる。	・色を付けて始点と終点を分かりやすくする。	
10 11 12	季節の名前	16	○仲間わけ ▲自分で選ぶことができる。	・絵カードを使用し、日常生活と結び付ける。	
1 2 3	ようすを表す 言葉(動詞)	18	○関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ▲絵カードを組み合わせる。	・適切な反復による学習を進めるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	社会
グループ名、人数	2グループ 12名		担当教員	◎木村、◎帖佐、作山、唐澤、田畑、三宅	
ねらい	(1) 社会生活に必要な知識や技能を身に付ける (2) 地域社会への興味関心を広げ、思考力を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	世界の国々	5	○世界の国の名前について知る。 ▲国旗や代表する建造物、食べものについて知る。	・国旗のビンゴや動画を活用して、世界の国について興味をもつ。	
5	学校と居住地	4	○学区域や、学校のある場所や通学路を中心に、地域の様子を知る。 ▲地図に建物写真を貼ることができる。	・学区域や、通学路地図など、生徒が身近に感じられるような教材を準備する。	
6	都道府県	4	○都道府県を知る。 ▲都道府県名を答え、特産品を知ることができる。	・都道府県かるたやパズルなど、生徒が興味をもって取り組めるように教材を工夫する。	
7 9	社会参加とき まり	5	○選挙の方法を知る。 ▲投票方法や多数決について理解することができる。	・生徒が興味をもっている物の模擬投票を行うなど、わかりやすく理解できるように留意する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	数学
グループ名、人数	2グループ 12名		担当教員	◎唐澤 三谷	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを知る。 (2) 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	数と計算	通年	○数と計算 ▲具体的を正確に数えることができる。 ▲基礎的な加減算ができる。	・興味のある物を教材にすることで関心を高める。 ・具体物や電卓を使って繰り返し行う。	
4 5 6 7 9	量と大きさ	18	○大きさ、長さ、重さ、かさなどの比較をする。 ▲大小、長短などの違いが分かり、比較ができたか。	・見た目では違いが分かる具体物を用意し、実際に比べて確かめられるようにする。	
	図形	17	○いろいろな図形の頂点や辺の数に注目し、図形の違いを理解する。 ▲図形の違いに気付くことができたか。	・図形の具体物を提示し、直線、曲線、頂点の数など、図形の特徴に注目できるようにする。	
10 11 12 1 2	金銭	18	○硬貨や紙幣の種類や名称を確認する。 ▲硬貨や紙幣の種類や名称を知り、正しい硬貨や紙幣を選ぶことができたか。	・硬貨や紙幣の実物を見せ、特徴を比較できるようにする。	
	時刻と時間	15	○時計の時刻を答えたり、アナログ時計を動かして時刻を合わせたりする。 ▲アナログ時計で1時間単位の時刻を読むことができたか。	・アナログ時計とデジタル時計を使用し、互換性を理解できるようにする。	
3	まとめ	2	○1年間の学習を振り返る。 ▲活動を振り返ることができる。	・視覚支援教材を用いて1年を振り返る。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	理科
グループ名、人数	2グループ 12名		担当教員	◎木村、◎帖佐、作山、唐澤、田畑、三宅	
ねらい	<p>(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	17単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10 11	生物の構造と機能	5	<p>○人の体のつくりと運動</p> <p>▲人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体のいろいろな部分を触り、骨や筋肉があることを確認する。 ・保健体育とも合わせて指導する。 	
12	地球の内部と地表面の変動	5	<p>○地面の傾きによる水の流れ</p> <p>▲水は高いところから低いところに集まることを理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地面が斜めになっている場所で水を流し、観察する。 ・農園芸班の畑や周回路等の地形を利用する。 	
1	粒子のもつエネルギー	4	<p>○温度と体積の変化</p> <p>▲水は温度によって水蒸気や氷に変化することを理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・容器に水を入れ、冷凍庫で凍らせて、実験する。 ・家庭科の調理実習等と関連付ける。 	
2	エネルギーの変換と保存	3	<p>○磁石に引き付けられるもの</p> <p>▲磁石には引き付けられるものと引き付けられないものがあることを理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石がくっつくものとくっつかないものがあることを実験する。 ・校内を周り、磁石が付くところと付かないところを確認する。 	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	美術
グループ名、人数	1・2グループ 15名		担当教員	◎谷、久留、清水、田畑、三谷、片峯、星野	
ねらい	<p>(1) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。</p> <p>(3) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。</p>				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	<p>○作品展示や鑑賞を通し達成感や周囲との交流を育む。</p> <p>▲作品を介し人との関わりを意識できる。</p> <p>○制作成功体験を通して造形活動を楽しみ興味関心を高める。</p> <p>▲造形活動に能動的に取り組もうとしている。</p>	<p>・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。</p> <p>・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。</p>	
4 5 6 7 9	オリエンテーション 描画、貼り絵	4	<p>○簡単な制作を通し安心して活動に取り組み、授業のルールを知る。</p> <p>▲制作活動に興味関心をもち活動に参加できる。</p>	<p>・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。</p>	
	デザイン	8	<p>○体育祭スローガン、ポスター</p> <p>▲適切な道具の使用方法を意識し制作できる。</p> <p>▲色を意識し制作できる。</p>	<p>・扱いやすい素材で制作する。</p> <p>・制作方法を見本などで分かりやすく提示する。</p>	
	版画技法	14	<p>○版画制作</p> <p>▲形や色の組み合わせに関心をもつことができる。</p> <p>▲色々な素材を版画の材料として制作できることを知る。</p>	<p>・版画技法を複数回繰り返し、制作内容に見通しをもてるようにする。</p>	
10 11	文化祭に向けた 取り組み	14	<p>○文化祭舞台道具制作</p> <p>▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。</p>	<p>・写真などで制作内容を分かりやすく伝える。</p>	
12	立体造形	14	<p>○季節の飾り制作</p> <p>▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。</p>	<p>・季節や制作イメージできる動画などを提示する。</p>	
1 2 3	絵画表現	8	<p>○水墨画表現</p> <p>▲墨の濃淡を体験しながら表現することができる。</p>	<p>・色々な墨で描いた作品の鑑賞を行う。</p>	
	工作	8	<p>○半立体作品制作</p> <p>▲素材を変化させられることに興味をもって取り組める。</p>	<p>・扱いやすい素材と道具を用意する。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	音楽
グループ名、人数	1・2グループ 15名		担当教員	◎品川 (月)久留、森(山本)、渡邊、日下、東、矢島(有)三宅 (木)松本(典)、渡邊、日下、東、三宅、山崎、川井、田中	
ねらい	(1) 音楽を聴き、身体を動かして楽しむ。 (2) 好きな歌や優しい旋律を楽しく歌う。 (3) 楽器に親しみ、簡単な合奏をしたりする。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	くもんの写真図鑑カード楽器カード		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	身体表現 「リトミック」等 鑑賞 「生演奏」他	通年	○速さやリズム、曲想に合わせて、身体で表現する。 ▲ピアノの音の緩急や強弱を聞き分け、身体を動かそうとする。 ○鑑賞を通して我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲楽しんで鑑賞できる。		・ピアノ伴奏で緩急を変化させる。 ・演奏に注目できるよう環境を整える。
4 5 6 7	歌唱・鑑賞 「校歌」「花」 「夏の思い出」 身体表現 「ダンス」 和太鼓 「三三七拍子」	19	○曲を何回も聴いて親しむ。メロディーや歌詞の一部を歌ったり口ずさんだりする。 ▲曲に興味をもち、友達と一緒に歌ったり聴いたりすることができる。 ○リズムにのって模倣しながら身体を動かす。 ▲多様なリズムや曲に興味をもち、自ら動く。 ○拍を意識して太鼓をたたく。 ▲拍を感じ取ってたたくことができる。 ○始めの構えや打ち上げを覚える。 ▲始まりと終わりを意識して構えのポーズを決めることができる。		・生演奏で毎回行い、曲の全体像を感じることができるようにする。 ・曲の雰囲気に変化をつけ、動きやすい伴奏を工夫する。 ・叩き方や構えの見本を前で見せる。 ・掛け声を言ったり、鐘を鳴らしたりすることで、タイミングを分かりやすくする。
9 10 11 12	創作 「移動教室のテーマソング」 歌唱・身体表現 「文化祭の歌やダンス」	31	○移動教室をイメージしながら歌詞やリズムの一部を創作する。 ▲リズムの一部を創作できる。 ○リズムにのって模倣しながら歌ったり、手や身体を動かしたりする。 ▲みんなと一緒に踊ったり、歌ったりすることを楽しむことができる。		・教員が様々なリズムパターンを提示し、イメージしやすいようにする。 ・視聴覚機器を使用し興味がもてるようにする。 ・マイクを使用して発声を促す。
1 2 3	器楽 「合奏」 歌唱 「卒業式の歌」 「国歌」	20	○曲のリズムを合わせて演奏する。 ▲教員の合図を見て、意識して演奏できる。 ○卒業式の歌をとおして、歌ったり、声を出すことを楽しんだり、音楽の雰囲気の心地よさを感じ取る。 ▲みんなと一緒に歌うことを楽しむことができる。		・リズムを感じられるような伴奏を工夫する。 ・リズムにのれるよう、鳴らすタイミングを合図する。 ・曲を覚えることができるよう、教員が見本を示す。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	1・2グループ 15名		担当教員	◎松本（月）唐澤、山本、木全、三谷、帖佐、島井、根岸（火）清水、西尾、日下、廣本、島井、菅原（木）唐澤、清水、廣本、山崎、帖佐、田中	
ねらい	(1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、技能や動きを身に付ける。 (2) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付けることができる。 (3) 各種の運動における多様な経験をとおして、きまりやルールなどを守る。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動	通年	○集団行動、体ほぐしの運動、身体の動きを高める運動、ヨガ、体づくり運動 ▲友達と楽しみながら進んで運動することができる。	・音楽をかけるなど、楽しくできる雰囲気を作る。	
後期	保健	2	○人との距離の取り方 ▲人との距離の取り方について理解することができる。	・ICT機器を活用し視覚支援を用いる。	
4 5	陸上競技 ダンス	14	○短距離走（50m走） ▲短距離走の行い方を理解することができる。 ○創作ダンス ▲音楽を意識して身体を動かすことができる。	・ゴールの少し先にゴールテープを張り、走りぬける練習を行う ・ICT機器を活用し動きのイメージをもちやすくする。	
5	体づくり運動 （新体力テスト）	13	○走・跳・投に関するテスト ▲新体力テストのいくつかの内容を行うことができる。	・実態に応じやり方を変えてテストを行う。	
6 7 9	体づくり運動 水泳 球技	28	○走・跳・投に関するテスト ▲新体力テストのいくつかの内容を行うことができる。 ○水中歩行、アクアビクス ▲初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れることができる。 ○ネット型（バレーボール） ▲ルールを理解し、チームのメンバーと協力してゲームをしている。	・水中でのダンスやビート板などを用いる。水中でのダンスやビート板などを用いる。	
10 11	球技 器械運動	24	○ゴール型（バスケットボール、ポッチャ） ▲積極的にボールを使った基本的な運動ができる。 ○平均台運動・マット運動 ▲器械、器具を使った運動に進んで取り組むことができる。	・当たった際に音がするものや、目標にしやすい的などを用意する。 ・実態に合わせて、段階的にできるように設定する。	
12 1	陸上競技	12	○長距離走 ▲長距離走の経験をとおして、目標をもって活動できる。	・動画を活用し、イメージがもてるようにする。	
2 3	武道	12	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。	・動画を活用して、武道のイメージがもてるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	職業
グループ名、人数	2グループ 12名		担当教員	◎作山、渡邊、西尾、日下、島井	
ねらい	(1) 職業や作業に関心をもち、基本的な手順や道具の使い方等を理解し、正しく行うことができる。 (2) 体験を振り返り、自分の得意や不得意に気付き、困った時に報告・相談しながら適切に行動している。 (3) 挨拶や報告等の基本的な働く態度を身に付け、最後までやり遂げようとする態度を養う。				
年間授業時数	35 単位時間		使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 情報機器の活用	毎時 20～30分	○挨拶や自己紹介の練習 ○軽作業(分別・色分け・封入・ボールペン・ネジの組み立てなど) ▲軽作業が終わったら、報告をする。 ▲分からない時は相談する。	・毎回同じ流れで取り組み見通しをもちやすくする。 ・生徒の実態に合わせ種類や道具の選択について工夫する。	
4	ガイダンス 挨拶 身だしなみ	6	○1年の学習内容 ▲学習内容に見通しをもつことができる。	・視覚的教材を使用し、学習内容を明確にする。	
5	進路見学会事前		○先輩の働いている姿を見る ▲将来の生活のイメージできる。	・生徒の実態やニーズに合わせて活動する。	
6	働くことについて考える 進路見学会① 事後学習	4	○いろいろな職種 ▲職種を具体的にイメージすることができる。	・写真やビデオで様子を具体的にイメージできるようにする。	
7	進路見学会事前 学習	5	○進路見学会への見通しをもつ ○仕事内容や利用者の様子を振り返る。 ▲卒業後の進路先について具体的に知ることができる。	・ICT機器を使用し、視覚的な教材を使用し見通しをもちやすいようにする。	
9	進路見学会② 進路見学会事後 学習				
10	くらしについて	3	○暮らしの場について ▲グループホームについて知る。	・視覚的教材を使用し、イメージできるようにする。	
11	就業体験 事前学習 事後学習	4	○就業体験 ○事前・事後学習 ▲卒業後の生活を体験する。 ▲教員と一緒に落ち着いて過ごすことができる。	・視覚教材を使って見通しをもてるように工夫する。	
12	余暇の過ごし方	4	○余暇の過ごし方を知る ▲情報機器を活用することができる。	・余暇の様子を紹介し考えるきっかけになるようにする。	
	就業体験 事前学習 事後学習	5	○就業体験 ○事前・事後学習 ▲卒業後の生活を体験する。 ▲教員と一緒に活動に取り組むことができる。	・教員と一緒に安定して活動できるように支援する。 ・ゲストティーチャー	
2	卒業生の話	2			
3	2年次に向けて	2	○これまでに取り組んできた活動や、将来の進路先での過ごし方などを確認する。 ▲教員と一緒に活動を振り返ることができる。	・ICT機器を使用し、視覚的な教材を使用し見通しをもちやすいようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	家庭
グループ名、人数		1・2グループ15名		担当教員	◎木全、廣本、松本、山本、作山、片峰、田中
ねらい		(1) 家庭生活に必要な被服、食物、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2) 家庭生活に必要な簡単なきまりやマナーに気づき、行動する態度を養う。			
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	「自立生活ハンドブック⑤どうぞめしあがればなぺてい」(全日本手をつなぐ育成会)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度準備 片付け	通年	○準備、片付け、清掃、ごみ捨て ▲教員の支援を受けて、準備、片付け、掃除を行うことができる。	・写真カード等で提示し、少ない指示で活動できるようにする。	
4	被服 刺しゅう糸やリボンを用いた製作	24	○刺しゅう糸を用いた作品制作 ▲糸を自分で選ぶことができる ▲針やリボン等を引っ張ろうとすることができる。 ▲見本や印を見て、糸やひもを通すことができる。	・印を付けて針やリボン等を通す位置を示す。すくう目の手前に印を付け、分かりやすく提示する。	
5					
6					
7					
9	被服 ミシンの基礎	8	○ミシンを使い、作品を仕立てる。 ▲ミシンの扱い方を知る。 ▲ボタンやコントローラーの扱いに慣れる。	・教員と一緒に安全に取り組む。	
10	調理 日常食の調理調理 「汁物を作ろう」	30	○和風の汁物 ○洋風の汁物 ○中華風の汁物 ▲調理作業に興味をもち、注視したり、手で触れたりしようとする。 ▲教員の支援を受けて、食品を切るなどの作業ができる。	・同じ題材を繰り返し行い、調理方法に慣れる。 ・写真や動画のレシピで確認しながら調理を行う。 ・食材や調理器具の名称を聞き、教員と一緒に準備、調理をする。	
11					
12					
1	「ほうとうを作ろう」		○ほうとうを作る。 ▲調理作業に興味をもち、食材等の注視や触る等ができる。	・調理手順を動画や静止画等で提示する。調理の授業に興味をもち、カードや見本に注目し、話を聞くことができる。	
2	消費者生活 「お金の扱い方」	8	○商品を選ぶ ○お金をやり取りする ▲指定された商品を選ぶ。 ▲財布の扱いに慣れスムーズに出し入れをする。 ▲購入したものをエコバックに入れる。	・各家庭から、自分が使いやすい財布を持参してもらう。 ・模擬買い物を行い、手順を繰り返し行う。 ・調理学習を隔週で行うことで、見通しをもたせる。	
3	買い物学習 (調理学習と関連付けて行う。)				

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 80名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しもう	6	○学年オリエンテーション ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲1年の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるように教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 6 9	学級で活動しよう	17	○学級活動(各行事を知り、事前準備や事後の反省を行う) ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意志や意見を持つ。 ▲協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすいようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
7	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。	・視覚教材を利用し、選択肢を示し理解しやすくする。	
10 11 12 1 2	学年集会をしよう	8	○学年集会の内容についての話し合い。 ○学年集会の準備・進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の役割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	1年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気付き尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		普通学級 77名		担当教員	普通学級担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (2) 教室をきれいにするとともに安全な教室環境を整える。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	季節行事の学習や生活の中の様々な活動体験	通年	○校外や地域の自然の変化に触れ、季節を感じる。 ▲四季の変化や特徴の気づき、活動する。 ○季節の制作物 ▲活動に興味や期待感をもつ。 ○教室環境の清掃、環境整備 ▲整理整頓ができたか。	・季節に合わせた活動を工夫する。 ・活動を通して自然の変化に気付くことができるよう一人一台端末を活用する。 ・一人一人に適した道具を使用する。	
4	学校生活に慣れよう	4	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	6	○体育祭事前・事後学習 ▲田無の体育祭を知り、自分たちの活動を理解する。 ▲体育祭の準備などを通して、協力しながら主体的に活動する。	・以前の映像等の視覚教材を使用して、活動のイメージがもてるようにする。 ・自分でできることを考えて目標を立てさせる。	
6 7	世界の国を知ろう 掃除道具の使い方	7	○外国の行事や文化に触れる(ALTによる学習) ▲外国人講師と交流することができる。 ○掃除道具の使い方に慣れよう。 ▲道具を安全に正しく使う。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。	
9 10	移動教室に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解できるようにする。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭の事前・事後学習 ○劇において、演技や台詞で表現する。 ▲自分の役割を意識して表現し、周りと協力して活動できる。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや達成感を味わう。	・得意なことを活かした役割や活動に取り組む。 ・皆で協力して一つのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2 3	校外学習に行こう 卒業式に向けて	6	○校外学習の事前・事後学習 ▲自分の係を意識して活動できる。 ▲マナーやルールを守って参加できる。 ○3年生を送る会、卒業式 ▲見通しをもって儀式に参加する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解しやすくする。 ・儀式に参加する意義を説明する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		80名		担当教員	1年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	2	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の4グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・スポーツ ・芸術 ・日本と世界	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3	○生活に身近な情報の入手方法を調べたり発表したりする。		
9		3	○ボール等を使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	○美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
11		4	○日本と海外の伝統文化や祭りを調べたり、体験したりする。	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3	○昔の遊びや海外の遊びなどを体験する。		
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
2		4	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		3	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 11名		担当教員	○作山、久留、山本、西尾、帖佐	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	(重重) 175 単位時間		使用教科書	なし
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃		○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。		・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	紙工作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー リサイクル作業（ペットボトルキャップ） 文化祭に向けた製品作成	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、計量、袋詰め、封入、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり、袋詰め、計量等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、仕分けなど、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーや、袋詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。 ○洗浄、裁断、成型、アイロン、穴あけレジン塗、UVレジンランプによる硬化等 ▲作業工程や材料・道具の扱い方を理解し、安全に配慮しながら手順に沿って作業を行うことができる。 ▲自分の役割を理解し、作業に取り組むとともに協力して最後までやり通そうとする姿勢。 ○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。 ・生徒の実態に合わせて道具や運搬方法を工夫する。 ・短時間で繰り返しできる活動内容を提示する。 ・作業内容を選べる環境を設定する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名	担当教員	◎谷、島井、三谷、山崎、星野	
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。		・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。
	・インターシップ	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。
11 12 1 2	・文化祭で製品を売る。 ・販売に向けて製品を作る ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	20 75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。		・次年度につながる評価表にする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 14名		担当教員	◎木村、唐澤、田畑、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	23	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理	222	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 11名		担当教員	◎木全、松本典、渡邊	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました。」「確認お願いします。」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使って分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・ピザ 販売	63	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を準備することができる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業する。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	55	○ピザの台紙作り ▲自分の分担作業を丁寧に取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	進路見学 就業体験 (インターシップ) (1月～2月)	30	○1、2日働くことを体験する。 ▲指示通りに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。	/	
12 1 2	調理 (製品作り) ・ピザ ・チョコチップパン ・食パン ・フォカッチャ販売	54	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲きれいにパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 清掃班
グループ名、人数	清掃班 14名		担当教員	◎品川 日下 廣本	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 (職業生活に必要な思考力、判断力、表現力)	毎時 20分	○身だしなみ、服装 ○挨拶、片づけ、清掃 ○作業の内容の確認、授業の成果と課題付け ▲作業学習のねらい、個人の目標、学習の流れを把握している。	・提示された指示書を確認する。 ・作業日誌にねらいや目標を記入できる欄を設け、毎時確認できるようにする。	
4	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	60	○タオルのたたみ方、絞り方、自在箒、ダスタークロス、クリーナーの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱いながら教室清掃や廊下清掃ができる。	・練習ボードを使用し、テーブル拭きの基本的な手順や手の動かし方を練習する。 ・タオルの幅を意識して拭けるように机に印をつけるなど視覚支援を行う。	
5	校内清掃 (窓、教室、廊下)				
6	校内清掃 (食堂、教室、廊下、更衣室)	26 水午後	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。	・見取り図を作成する。 ・生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にしていく。	
7	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	44	○スクイージーの使い方、モップの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱うことができる。 ▲窓に水滴や汚れが残っていないか点検することができる。 ▲モップのセッティングの仕方、絞り方、拭き方を理解する。	・視覚ボードや作業手順カードを利用するなど視覚支援を行い学習の効率化を図る。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
9	校内清掃				
10	高1 教室清掃、 ゴミ回収 高1 更衣室清掃 玄関清掃 廊下清掃 校外清掃	34 水午前	○教室のごみ回収や更衣室の清掃を行う。また玄関の窓清掃及び下駄箱清掃に取り組む。 ▲教室出入り際には挨拶することができる。 ▲互いに協力して、回収を分担する。 ▲任されたごみ回収や清掃場所を最後まで責任をもって取り組むことができる。 ○外部受注の仕事に取り組む。 ▲5日間作業に取り組むことができる。	・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。 ・見取り図を作成する。	
11	(学童清掃)				
12	清掃技能検定向け練習 校内清掃 校外清掃 (学童清掃)	17	○検定マニュアル通りに清掃する。 ○校内清掃検定を実施する。 ▲マニュアルに従って、清掃することができる。 ▲制限時間を意識している。	・過去の検定のDVDを見て検定の流れを理解する。 ・DVDを活用しながら繰り返し実践を行う時間を設ける。	
1	校内清掃 食堂、玄関、窓 教室、廊下、更衣室	48	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。	・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
2	校外清掃 フレンドリー清掃 インターンシップ		○玄関の窓や学童の窓をスクイージーで清掃する。 ▲清掃終了後に報告することができる。 ○インターンシップ先で働く体験をする。 ▲インターンシップに参加できる。	・視覚ボードや作業手順カードを利用する。 ・インターンシップ先の事業所の写真や情報を提示して、見通しをもって参加できるようにする。	
3	清掃まとめ 2年時の清掃	16	○外部指導員や先輩の清掃の様子を見学し、清掃技術の向上を図る。 ▲模範をよく観察し、清掃方法を覚える。	・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 事務補助班
グループ名、人数		事務補助班 12名	担当教員	◎東、矢島	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験し、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 「勤労の意義」 「職業」	毎時 20分	○出席確認、挨拶、身だしなみチェック、作業内容、時程の確認、日誌記入、片付け、清掃 ▲ビジネスマナーを意識する。	・自己評価と教員が行う他者評価の結果を基に自ら目標、課題設定ができるようにする。	
4	事務 「事務業務の内容と特徴」	60	○オリエンテーション(挨拶、ルール、目標、仕事内容の確認) ▲作業に必要な機器の簡単な操作ができる。	・作業日誌や目標を記入できる欄を設け毎時確認する。	
5					
6	事務 「事務処理の方法」 (インターシップ°)	169	○事務トレーニング 1 シュレッダー 2 裏紙作成、押印 3 用紙補充 4 入力業務 5 ポスティング 6 雑誌ひもしぼり 7 テプラ作成 8 ラミネーター 9 印刷 10 リユース 11 メモ帳作成 ▲PCや印刷機などの操作ができる。 ▲受注に対して責任をもって自ら主体的に取り組もうとする。 ▲教員や先輩に教えてもらいながら手順書を手掛かりに工程を理解する。 ▲一人で手順書をもとに時間や効率を意識して工程を進めている。 ▲発注内容に対して、お客様の要望や気持ちを意識して仕上げようとする。	・検品基準を明確にする。	
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	事務 「事務処理の方法」	16	○年度末業務 1 クラス表示の作成 2 文具の回収仕分け ▲作業の手順を考え相談しながら取り組める。	・検品基準を明確にする。	